

くまざさ



同窓会館は建ちました 募金活動は未だ続きます

湖陵同窓会長 久本 甫

同窓会館建設の話が出たのが二
代前の組村真平会長時代の昭和五
十五年。湖陵開校の七十周年記念
の式典には同窓会館寄贈の目録を
も学校側に手渡ししてあります。そ
して翌五十九年には富士見町から
緑が岡へと校舎の移転が決定しま
す。この移転が決まったことで同
窓会館建設が本決まりとなり、募
金活動のため協賛会会長には故丹
葉節郎元同窓会長が内定していた
ところでした。当時は今と違って
景気は上々、芸能人の結婚式には
二億や三億はざらな話。当時卒業
生が一万八千人いる釧中、湖陵が
その気で頑張ればと云うことで二
億の予算で会館建設の計画が進め
られました。ところが会館建設予
定地は湖陵の敷地内で、つまり道
有地と云うこともあって建設許可
を取るのになんと十年もの歳月を
費やしてしまいました。この間、
同窓会長は昭和六十年組村会長か
ら長内会長へとバトンタッチ。長
内会長の六年間は札幌湖陵会、東
京湖陵会の正式発足、湖陵新校舎
落成、開校八十周年記念等と行事
が目白押し。同窓会館建設に着手

する隙のないまゝ、平成三年、私
へと会長が回って来ました。会館
建設の話が出た昭和五十五年当時
私、副会長の一人として命令され
るがまま会館建設小委員長となり
ましたが、設計・建築・建築費等
は既に骨子が決まっております。
委員会でも検討出来ることはごく一
部に限られておりました。この会
館建設小委員長を仰せつかった
同窓から「久本が会長の時に建て
なくてはどう建たない」なんて云
われ、つい責任を感じて「火中の
栗を拾う」かたちになりました。
斯くして平成七年秋、道教委、国
税庁その他建築関係等の話が全て
決まり、いよいよ会館建設へとな
りました。募金活動と建築工事が
平行して行なわれると云う、奇妙
で大変不可思議且つ危険な事であ
りましたが、実は募金の減免措置
は、道教委の会館建設の許可がな
くては申請できません。又、会館
建設の許可がおりたら一年以内に
完成する事と云う、訳のわからない
オカミの言分が付いてまわって
たと云うことであります。

協賛会々長と実行委員長は同窓
の各方面にお願いしておりまし
たが、なかなか引き受け手がなく、
結局、同窓会長の私と副会長の鈴
木豊治氏がそれぞれの役を引き受
け、募金額も当初の二億から時代
に合わせて一億五千万とした次第
です。かくして昨年三月着工、九
月完成、十二月末学校側へ引渡し
となりましたが、建設会社には一
億の未払いとなっております。ま
アこゝまでがプロローグでして、こ
れからの募金が大変です。実行委
員会の集金方法が下手とか、奉加
帳を持って歩きなさいとか色々
と云われております。こう云う人
「口は出すが金は出さない、手は
かささない」と云うんでしょうか。
指示されたら動きまわすと云う人も
居ます。これを「指示待ち族」と
云うんでしょうね。大手企業にも
お願いにまいました。「卒業生の
皆さんが先に出すのが順当でない
ですか。」返す言葉もありません。
その通りです。同窓生にも色々居
ます。「役員が決めたこと、一億円
は役員で払えば」と同じ同窓かと目
と耳を疑いたくなる言葉です。

二十年来の悲願であった同窓会
館、それを実行に移した現役員は
同窓の皆様には不評をかっており
ます。ところがそれとは裏腹に、
同窓以外のところでは「会長さん
大変ですね。湖陵の卒業生は何を

考えているんでしょうね」なんぞ
と同情されたり慰められたりして
やはり頑張らなくてはと。
完成した毛網氏設計の会館には
色々ご批判もあるようですが、釧
中・湖陵に世話になったお礼の標
として、卒業生皆々様の浄財を今
一度お願いいたすところでありま
す。

今年の総会のビールは、ほろ苦
いです。来年は旨いビールを飲み
たいもんです。



湖陵会よ！ 栄あれ！

第二十六代学校長 太田守男

今年二月に私たちは中学時代の
クラス会を開きました。ちょうど
卒業四十周年になりましたので、
当時の担任夫婦を招いてのクラス
会でした。遠くは、大阪、名古屋
東京からも参加してくれました。
先生を囲み、昔の思い出話や今の
自分の生活のことなど、時の過つ
のも忘れて語り明かしました。お
互いに年をとり頭には白い物が混
じっていたり、薄くなっているも

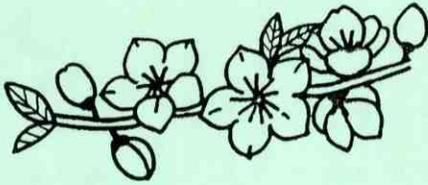
気持ちには四十年前の中学生時代にすっかりタイムスリップしているのでしょうか。同期生っていいものです。何のこだわりもなくすぐに打ち解けてしまうのですから不思議なものです。

六月二十日、札幌湖陵会総会が札幌ファクトリーで開催され、参加させていただく機会に恵まれました。開会予定の時刻より十五分ほど早く会場に着いたのですが、会場は熱気に包まれておりまして、

今回の出席者は、三百名を越えるという聞き驚きました。釧中〇〇期、湖陵〇〇期、と書かれた壁紙の下でそれぞれの同期生がテーブルを囲み、ビールを酌み交わしながら大いに湧いておりました。先輩から後輩へと営々と続く伝統をそこに見たような思いでした。暫くしてから総会の開会が宣言され、続いて校歌、応援歌の合唱が始まりました。期を越え、肩を組み、体を揺すりながら声高らかに歌う様子は、そしてその顔は「我らは湖陵の卒業生なり」と天下に誇示しているようにも見えました。

私は校長として、創立以来の自由闊達な校風と文武両道を目指した本校の教育方針を継承し、発展させねばの思いに駆られました。先輩諸兄の残してくれた伝統を大切に立派な後輩を育てるといふ責任をあらためて痛感しまし

た。湖陵会の益々の発展を祈念いたしますとともに、本校に更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。



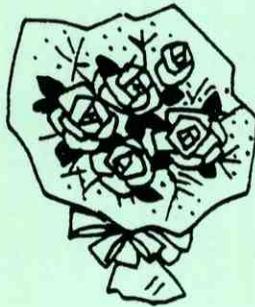
同窓会総会名議長

中村 隆氏逝く

毎夏、同窓会員が先輩・同輩・後輩の絆をこえて一同に会する同窓会。その総会時に若々しさと情熱的な口調で進行させる名議長として永年選任され、議事を処理された中村先輩が去夏逝去された。

同氏は大正十四年七月釧路市トシケンに生まれ釧中に入學、第二十七回生として昭和十九年三月卒業され、早稲田大学に進学、卒業後帰郷、家事を継がれ、昭和三十二年創業の中華の店「八まき・八宝園」を経営、五十一年釧路パシフィックホテルを創業、社長を経て平成五年より会長となる。この間、昭和四十四年市議に当選、市議会議員として連続七期をつとめ、地元政界のリーダーとして市政に多くの功労があった。昨春は勲四等瑞宝章の叙勲を受けられた。

今、総会議事の短時間処理に大拍手を受け降壇する姿とお声がかび惚ばれる。先輩の逝去に、同窓会支援のご功勞に感謝し、心から弔意を表し、茲に謹んでご冥福をお祈りする次第である。(のぶ)



御婚礼・御宴会・御会合・御宿泊

政府登録国際観光ホテル・日本ホテル協会会員

釧路パシフィックホテル

れんが屋★AM11:00～PM11:00

トロイカ★AM 8:00～PM11:00

パシフィックイン・八まき・八宝園

釧路市栄町2丁目6番地 ☎24-8811

奥田達也 (鋼中1期) の

誠愛勇から

石山幸男の巻

(鋼中 20 期)



「せっかくだがやり出しているなら、もつと本腰を入れてやってみたら……。老後を迎えた時、何か本格的な趣味を持っていけば、人生退屈しないですむと思うけど……」
と繁子夫人にいわれ石山幸男が正光未生流の佐藤鑑晃師に入門して三十六年が経った。

鋼中を卒業した昭和十二年、通信局に就職し在職中に東京電気通信工学校選科を修業、終戦の二十年NHKに転職し、釧路放送局のプロデューサーとして活躍する。

NHKを辞め釧路市教育委員会に勤め公民館次長として新装なった最新式の文化の殿堂で休日もなく文化的な事業に精出すことになつたのは昭和三十三年である。

道東地域の放送文化向上と振興をねがって、昭和二十二年から専属釧路放送劇団を設立。その育成に努め輝かしい功績をのこした。

ガムシヤラな仕事から文化的な催しに観賞力を養わない、高めたいという欲望にとりつかれるのは、些か仕事の要領も体得し、館のやり方や企画の本質に反省、検討す

多岐にわたって精進

華道をはじめ師範の元館長

べきことに気付きははじめたオープニング目である。

演劇・音楽・絵画等はもともと基本的な知識は或る程度もつていたから、それなりに観賞はできたものの、全くわからないのは、華道と、茶道と、書道であった。

そのわからなさを率直に丹葉節郎館長(鋼中八期)に話す。

「それは文化事業にたずさわる公民館職員として望ましい姿ではない。恐らく他の職員も似たようなことであろうから、みんなで勉強

してみよう」と館長はいい、心ある職員が実際にその道の講習を受けることになる。それぞれのジャンルの先生を館長が選定し交渉してくれる。

石山は華道、茶道、書道を習いはじめた。もちろん仕事の余暇の勉強で、作品観賞能力の養成にいくらか役立たせようという気持ちから始めたもので、そう深く考へての出発ではない。そうした指導を受けて半年以上もたった頃に、冒頭の言葉を云われたのである。それから四十二年経た今七十八歳、

凝れば妙あり

青年期には文学や演劇などに、中年のあたりからは書道や華道に凝った。六〇歳を過ぎてからは詩吟に凝った。いずれも良き師、良き仲間との出会いが縁である。

うち、華道は四〇年近く手にかけてきたので、最も長いものとなり「凝れば妙あり」ということわざどおり、期間に比例していささかは本質にも触れ得た気がするし、おもしろさも深まっ

た気がする。

あれにもこれにも心ひかれ手をそめたが、その多くがさして実りもないままにいつの間にか私の関心事から遠ざかつて行つたなかであつて、自分なりに「凝れば妙あり」の進境を実感できたことは、遅時きながら確かな収穫である。(釧路春秋38号「文化をはぐくむ」より)

翼賛芸術連盟下の昭和十六年に自ら主宰して雑誌「郷土文学」を創刊し、さらには戦中の抵抗詩を中心とする未刊の詩集「假衣裳」(昭二十)がある。この情熱詩人としての資質が書道、華道、詩吟の各分野に達人の境地を拓かした最大の要素、と鳥居省三は云う。

厚生年金体育館長、公民館長、市民活動部長を歴任、市を退職後釧路市民文化振興財団常務理事をつとめた。

少年期より柔道を始め、鋼中入学時には正科に剣道を選ぶなどなすことと多岐にわたるを気にしない。いま華道正光未生流釧路支部長。華道(全日本書芸文化院師範)、華道(正光未生流師範)、詩吟(日本詩吟学院岳風会師範)、柔道(講道館三段)

いまにして振り返ってみても、すべてのことが生かされた道を、人生を歩んできた、と思う。大変革の時代を生き抜いてきて、

なお積極的に多岐な道に精進する石山幸男の研究心も弁論も衰えを知らない。

正光未生流釧路支部五十周年記念誌「道程半世紀」も執筆編集した。

■記念誌・チラシ・伝票類・各種一般、カラー印刷

野 印 刷

〒085 釧路市貝塚4丁目8の4 TEL 46-1026 FAX 46-4471

同窓会館建設募金 協力のお願ひ

今年も、釧路名物の霧が市内一円を被いつくし、霧笛が鳴りひびく夏がやって来しました。

覚えておられますか？昨年同窓会総会でも配られた「くまざさ」第34号、同窓会館建設への募金協力をお願い特集であったことを。あれから一年たち募金額はやつと六千万を越えたところです。目標額にはまだまだ足りません。

この間、協賛会の役員、実行委員の役員の方々の大変な御努力は十分に解っておりますが、現実には非常にきびしい状態になっております。当初、「湖陵の卒業生は一万八千人、一人一万円で十分」と皆な鼓舞する発言も変に(?)誤解され、「二人一万でいい」となってしまったり、「俺には案内が届いていないので出さない」「自分が使う訳でないから関係ない」「誰かが勝手にやったから知らない」など色々な声が聞こえてきます。しかし、意見は色々ありますが、長い間の懸案事項であった、同窓会館は昨年完成いたしました。同窓会館に

は、ギャラリイとして開校以来の貴重な資料や記録、同窓生の芸術作品が収められます。和室は在校生の部活動、同窓生やPTAの会合に利用出来ます。

やつと他の高校のように同窓会館を建てる事が出来たのです。私達の長年の夢、心の寄りどころが出来たのです。是非、いま一度の御協力をお願いします。

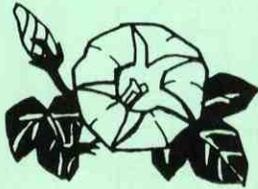
募金への御協力のお願ひは重々ですが、貴殿のまわりで、募金の協力文書が届いていない人がおられましたら、このくまざさを見せあげて下さい。文書が届いていないので募金協力をまだしてない方がおりましたら、振り込み先をおしえてあげて下さい。ご商売を営んでいるかたは、個人での御協力の他に会社での御協力もお願い申し上げます。同期会、クラス会を開催したおりに、同窓会館の話をして下さい。湖陵の卒業生と会ったら募金協力依頼を是非お願い申し上げます。

同窓会館は同窓生皆んなの会館

です。一人でも多くの人の御協力をお願い申し上げます。

追伸
再度、募金協力のお願ひ文書と趣意書を掲載いたしますので一人でも多くの人へ伝えて下さいますようにお願い申し上げます。

会計 佐藤文智記



北海道釧路湖陵高等学校同窓会館建設資金の 募金協力のお願ひ



皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて私ども協賛会の念願でありました同窓会館が建設の運びとなり、九月末の完成を目指して募金のご協力をお願いしているところでございます。我々同窓生は勿論のこと在校生、そして今後湖陵高校で学ばれる後輩の皆様にも大いに活用していただくための会館でございます。湖陵の伝統にふさわしい会館を念じておりますので、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成8年7月2日
北海道釧路湖陵高等学校同窓会館建設事業協賛会会長 久本 甫
実行委員長 鈴木 豊 出

- 寄付金の払込(取扱金融機関及び口座番号・口座名義)
- 1)富士銀行釧路支店 □座番号 普通預金 1501882
- 2)北海道拓殖銀行釧路支店 □座番号 普通預金 3434782
- 3)釧路信用金庫本店 □座番号 普通預金 1103412
- 座名義/北海道釧路湖陵高等学校同窓会館建設事業協賛会会長 久本 甫
- 4)小樽貯金事務センター(郵便振替口座)
□座番号 02760-8-28524

加入者名/北海道釧路湖陵高等学校同窓会館建設事業協賛会

お問い合わせ/☎23-5151(内線6520)(関口)

『ご注意 期によっては独自にまとめている場合がありますのでお確かめください。』

趣意書

皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。私ども母校は、大正二年の創立以来、創高、湖陵と八十余年の年輪を刻み幾多の試練を乗り越え発展を続け、今日に至りました。その間約二万六千名の卒業生は、金道はもちろん金園で有為な人材として活躍しております。

さて、母校の校舎改築や八十周年記念式典も終え、この度永年の願望であった同窓会館（仮称）の建設に向けて、いよいよ募金活動を開始する運びとなりました。

この同窓会館は、創立以来の貴重な記録、資料、同窓生の芸術品を保存、展示すると同時に、在校生の部活動並びに同窓生やPTAの各種会合等に提供し、伝統ある諸活動が一層充実させ、有為な人材育成とともに、貴重な芸術品に直接触れることにより、情操教育の一助にも寄与するものと考えております。

何卒、この趣旨にご理解いただき、本事業達成のため絶大なご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお、皆様のご協力により完成した同窓会館は、より一層の活用を願い完成後直ちに北海道（北海道釧路湖陵高等学校）へ寄附することといたします。

平成八年一月吉日

- 北海道釧路湖陵高等学校同窓会館建設事業協賛会
- 協賛会会長（全日制同窓会会長） 久 本
 - 協賛会副会長（全日制同窓会副会長） 遠 藤
 - 同（全日制同窓会副会長） 北 明
 - 同（全日制同窓会副会長） 原 隆
 - 同（全日制同窓会副会長） 吉 紘
 - 同（全日制同窓会副会長） 戸 絃
 - 同（全日制同窓会副会長） 原 正
 - 同（全日制同窓会副会長） 森 正
 - 同（全日制同窓会副会長） 河 崎
 - 同（全日制同窓会副会長） 村 英
 - 同（全日制同窓会副会長） 栗 正
 - 同（全日制同窓会副会長） 栗 二
 - 同（全日制同窓会副会長） 栗 弘
 - 同（全日制同窓会副会長） 栗 正
 - 同（全日制同窓会副会長） 栗 二
 - 同（全日制同窓会副会長） 栗 弘



完成した同窓会館全景

あたたかふれあい



太陽のように
明るく暖かい真心で
良い品をより安く
ご奉仕する

セオチェーン

妹尾商店
新橋大通1丁目 ☎25-5345

新富士ストア
新富士駅前 ☎51-3467

愛国ストア
愛国西3丁目 ☎36-3399

白樺ストア
白樺台1丁目 ☎91-5423

昭園ストア
昭と北1丁目 ☎51-8853

さつぽろ地下街オーロラタウン
ギフトブティック

ペルソナ

オーロラプラザ前 ☎(011)241-3830

●味が自慢の本格派レストラン●

ステーキハウス アポロン

新橋大通1丁目妹尾商店向 ☎25-7023
営業時間/AM11:00~PM9:00

当番期紹介

湖陵二十五期会代表 千田剛三



湖陵を卒業して早、二〇余年の月日が流れてしまった。この歳月の中で自分も含めて、それぞれが楽あり苦ありの人生を歩み、今や不惑の四〇代。自分だけ若いつもりでも最早周りがそんなこと認めてくれないオジン・オバンの世代である。何枚か感慨もひとしお…。

私達花ノの25期は昭和45年から48年までの3年間、湖陵にワラジをぬがしていたいたA組からI組まで総勢三七〇名十アルファ(定かでない)の仲間たちである。確かバッチの色は赤だった？

時は昭和元禄、アングラ時代、日本の経済成長が急激な伸びを示し、「豊かさ」というものが少しずつ実感できるようになった頃だ。長髪ルックでパンタロンのズボン、ヒッピー族などが流行し、女性も

ミニスカートがブームで、女子の制服のスカート丈も今のコギャルたちに勝るとも劣らないくらい短かったような気がする。(そんな所ばかり見ていたのか、などと思わないで) 当方で思い出すのは、昼間でも薄暗く、廊下を歩くとギーギーと音がした、あの時でもボロボロの旧校舎や汗臭いクラブの部屋、文化祭のフォークダンスで握ったあの娘の手のぬくもり…などなど様々の思い出がある。

そんな我々も今や、医者、事業家、公務員、専業主婦など、それぞれの立場で活躍中である。ある者は中間管理職の非哀をなめ、またある者は毎日のソロバン勘定に頭を悩まし、またある者は鬼の教育ママとして我が子を叱咤激励しながら、みんな自分にしか生きられない人生をそれなりに生きている。そんな我々が、今年同窓会の当番期として働くことになった。

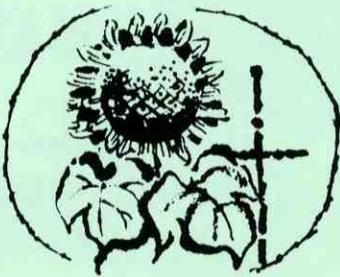
実は去年は、同窓会ゴルフコンペの幹事をおおせつかり、ピーク時には十五・六人が準備に集まり協力してコンペを大成させた。その感激を胸に来年は同窓会の

当番期を迎えるから早目に同期会を開き準備にかかろうなどと口約束だけで盛り上がったものの、忙しさに紛れてズルズルと年を越し今日に至ってしまった。3期合同の初顔合せの参加者もたったの3名(かくいう私も参加してない)。

大変な危機感を感じながら方々に声をかけて初の同期会を行なったのが6月13日の金曜日。日が悪いと不安を感じながら出かけいくと、何と18名と予想以上の参加があり大変嬉しく思った。以後何度かの会合をもちながら、会券の売れ行き、広告とりの状況、当日の出しもの等、真剣な協議をしながら準備作業にも次第に熱が入っている。作業をすすめながら20数年前の自分に戻っていることに気づく。そこには、ちよっとくたびれて白髪もシワも増えたけれど、まちがいなくあの頃の友の顔があり、青春があった(ちよっと感傷的かな…)。

10年に一度のこの当番期が、私たち25期の同期メンバーのきずなを更に深める良い機会になるようにと同窓会当日の夜には、10年ぶ

りの同期会を開く予定になっている。あの友この友、たくさんの友人たちとの再会が今から楽しみである。同窓会の当日は、俺も私も湖陵の思いで大いに楽しみ、思い出に残る1日にしよう。



ゴルフショップ 三幸

新橋大通 5 - 1

代表 宮本英司

——先輩、後輩よろしく頼みます。湖陵17期——



中村 有 司

平成九年三月卒
(湖陵四十九期)

湖陵高校を卒業し、社会人の一人となり、早くも四ヶ月が過ぎようとしています、未だに学生の頃の遊び心が抜けきれません。休みの日でも顔を出して仕事を手伝ったりしています。

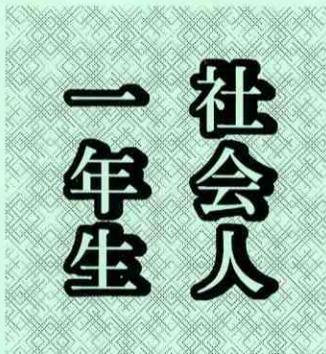
三年間の高校生活は本当にあって言う間に過ぎてしまいました、振り返るとあの頃が一番楽しく、一番充実していたと思います。入学した時は、先生方も生徒達も勉強しか頭になく真面目な人ばかりで、そんな中で楽しくやっていけるのかと不安でしたが、実際はそんな事なく先生方までとても楽しく有意義な学校生活を送る事ができ、湖陵高校に入学して良かったと思うと同時にとても感謝しています。

学校生活には色々な事がありました、ですが、最も心に残っていて、得るものが多かったのは部活動でした。バスケット部は厳しい上下関係も無く、一年生から三年生まで全員で楽しく全道大会へ向けて頑張っていました。数回あった合宿や遠征等ではバスケットの事だけでなく、湖陵生としての生活や、

団体行動等の面でも勉強になる事が多く、精神的にも大きく成長したと思います。そして三年生最後となる高体連では優勝こそできませんでしたが、準優勝で全道大会に出場する事ができました。二回戦で負けてしま

いましたが、とても良い思い出を残す事ができました。最後のミーティングでは、涙を見せる人もいて、今でも心に残っています。後輩達にはこれからも、勝つだけでなく、

楽しみのあるバスケット部が良い思い出を残して欲しいと思っています。湖陵高校を卒業してからは、三年間一緒にいた仲間もそれぞれ違う道へと進んで行きましたが、社会人になると、学生とは全く違い、誰も助けてくれる人はいませんが、誰も責任をとってくれる人もいません。自分というものをしっかりと持っていないとやっていけませんし誰も相手してくれませんが、



社会人 一年生

自分は全く変わっていないと思っても、世間からは違った目で見られ、今までできなかった事もある程度度できるようになる事もあるけれど、その反面、学生時代にできなかった事ができなくなったりしますし、何をしても自分で自分の行動に責任をとらなければなりません。また、社会人になると勉強しなくてもいいと思われがちですが、一人の社会人としての一般常識や、それぞれの会社で働くために自分の会社についての勉強もありますし、勉強会や研修等たくさん勉強する事があり、ある意味では学生の頃より勉強する事が多いし、大変だと思えます。でも社会人

になると苦しい事ばかりでなく、楽しい事も多くなると思います。僕の場合は、接客が中心となるので、毎日色々な人に出会えますし、頭にくる事もありますし、毎日一つや二つ黙っていても勉強になる事がありますし、今ではこれらの一つ一つが毎日の楽しみです。高校生活の三年間では、多くの先生方、友人、先輩、後輩等、数多くの人にお世話になりました。高校時代に

学んだ事を生かしてこれからも頑張っていきたいと思えます。そして後輩のみなさんに伝えておきたいのですが、高校を卒業して大学へ行くのがすべてではないと思うので、若い内に色々な事をやってみるのも良いと思います。大学生とは少し違った楽しみがたくさんあると思います。



釧路のおみやげに！

しあわせをお菓子にのせて



蜂蜜手焼
せんべい

熊ささ



釧路市南大通2 ☎代41-2121

